

その 258

## クローズアップ21

### レイワゴルフリゾート 紫塚ゴルフ倶楽部

## 温泉と食事、グランピングにGアカデミー加え「4つのR」実現

紫塚GC（27H、栃木県さくら市）は、東北自動車道・宇都宮ICから45分（上河内スマートICから25分）、JR氏家駅からクラブバスで15分の立地。約2年前の20（令和2）年8月1日に芳賀ファーム&グランピング（栃木県芳賀郡芳賀町）をオープンし、つづじヶ丘CC（18H、栃木県足利市、経営㈱TCCマネイジメント）とともに3つの複合リゾート施設の「レイワゴルフリゾート」としてグループ展開している。

コロナ禍で人々の行動変容がなされるなか、キャンプとゴルフは屋外で活動できるアクティビティとして注目されたタイミング。しかも紫塚GC経営の㈱MGCマネイジメントは、経済産業省（中小企業庁）「事業再構築補助金」の第2回公募に「グランピング×ワーケーションとゴルフ場でのゴルフアカデミーの展開」を事業目的に掲げ、昨年9月に採択を受けた。

補助金を活用し、ドライビングレンジを改修、今年4月に「ゴルフアカデミー」を正式開校した。

リゾート施設の総称、事業再構築申請もジャストタイミングであり、同リゾートがデザインするコ

ンセプトと、以前から温めていたというゴルフアカデミー構想を中心に紹介する。

### ゴルフアカデミー中心に事業再構築補助金の採択受ける

事業再構築補助金は、ポストコロナに対応するため新分野展開などの思い切った事業へ挑戦する中小企業等を支援する制度。レイワゴルフリゾートとしては、すでにグランピングとワーケーション事業に乗り出していたので、引き続き施策のゴルフアカデミー構想を事業再構築の中心とした。

長谷川孝之社長は、「ゴルフアカデミーは、ゴルフ場として王道のようですが、内容をしっかりと精査して頂きゴルフ場事業とアカデミー事業は別事業と評価された」ことから、全国の事業再構築ゴルフ場でも早々の採択となった。



㈱MGCマネイジメントの  
長谷川孝之社長

レイワゴルフリゾートはコンセプトに「4つのR」を掲げた。長谷川社長は「リラクゼーションⅡ気持ちもゆったりして、レストⅡ体をゆつくり休めて、レクリエーションⅡただ休むだけではなく何かアクティブな行動を起こしつつ、リトリートⅡ自分たちが人間らしく、ニュートラルに戻れるというようなところです。特にコロナ禍では心身共に萎縮がちです。ゴルフのようにアウトドアスポーツをする事により、心も身体も解放することが出来ます。ゴルフ場に来て頂き、プレーをするだけではなく滞在しながら色々な楽しみ方を見つけて頂くこともコンセプトの中のひとつです。ゴルフの関わり方も十人十色、様々です。

家族・友人とのコミュニケーションの場として、あるいは健康管理やストレス解消の方法としてゴルフを楽しむケースも多く見受けられます。そこでアカデミーでは様々なゴルフの楽しみ方をサポートして、より多くの人に楽しさを知ってもらい、人生がいつそう豊かになるゴルフライフの提供を目指すことにしました。ピギナー、親子、また高齢者でも長くゴルフ



補助金にてドライビングレンジを改修。周囲にはアプローチ、バンカー、パッティングエリアも完備

を楽しんでいただきたい。80歳を超えた方でもゴルフを楽しまれる方は多く、ジムに通い、ピラティス（ドイツ発祥のエキササイズ）の個人レッスンまで受けられている方もいらした。聞くとゴルフ場に通うためだと仰られていました。高齢化が進む中、我々が何かお手伝いしたいという思いです」と説明している。

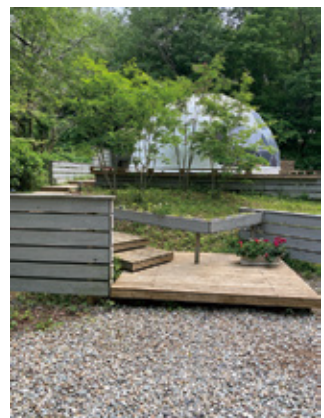
元々あったゴルフレンジを全面リニューアルし、一角にアカデミー専用ブースを設置。練習場と本コースを組み合わせたレッスンにより、初心者から上級者まで着実にステップアップできるプログラムを提供する考えだ。

ゴルフアカデミー構想を実現するため、紫塚で育った管沼穂プロ

（現支配人、PGAのA級ティーチングプロ）をコロナが始まる20年2月に呼び戻し、さらにティーチングプロを1名増やした。

芳賀ファーム&グランピングは、ゴルフ場から南に15キロ離れた芳賀町で同GCのグループ会社としてサラブレッドの育成牧場を営営していた経緯から、8年以上前からグランピング施設を造る構想があった。35万平方メートルの森の中にグランピング10棟、サンルーム、プール等を備え、ヨガやピラティス、隣接の乗馬クラブと提携して乗馬体験も可能として2年前にオープン。牧場にはクヌギの森が広がり、カブトムシやクワガタなど子供が喜ぶ昆虫がたくさん生息していた。

紫塚GCでは進入路横の森の中にグランピング施設1棟をパイロ



紫塚GCにもあるドーム型のグランピングテント。周りでバーベキュー等が楽しめる。内部は冷暖房も完備

ット版として3年前に自前で建設。その余勢を駆った芳賀ファームでのグランピング展開であった。

同クラブは、ホテル（20室）とヴィラがあり、コロナ前はキャパオーバーになりがちで、「いつもと違った宿泊体験」ができるように作ったのがドーム型のグランピングだった。

当時、関東のゴルフ場でグランピング施設は3カ所が知られる程度。各種メディアでも注目される先行者利益から、常時予約が途切れないなど盛況で開設3年目にし整備費を回収した。

こうして紫塚では110名の宿泊に対応できることとなったが、さらなる需要開拓と満足度向上のために、補助金を活用して、ドラ



ホテル裏にあるヴィラ（6棟）はきれいな室内でWi-Fiも完備。各棟温泉付きで24時間入浴可能。横にレストラン「クリーク」がある

イビングレージの改修や各施設でのワーケーション用にWi-Fi環境を増強。残り費用はホームページの改修費用に資金を充てる方針で、その後経産省に経過報告を行う予定となっている。同クラブはコロナ禍初期の20年



天然温泉付きホテルのテラスとプール



ホテル客室。県民（ブロック）割が6月末まで延長され東京を除く首都圏が対象（1人1泊で5000円引+2000円クーポン）

はGWなどに宿泊施設を休業、同年7〜11月にGOTOトラベルキャンペーンがあつて、東京都も対象となつた10〜11月は「過去最高」の業績を挙げた。申請手続きも大変だったというが、最上級の夕食メニューである鉄板焼きステーキプランが一番人気になるなど、その勢いは凄まじかつたようだ。このため長谷川社長は「旅の需要がなくなつたわけではないと思います。ただコロナにより、行動が変容し、滞在時間が短くなり、飲食、特にパーティーが少なく

何せ初期のコロナ下では宿泊事業が壊滅的な影響があつたという経緯から、宿泊を含めた利用者数はまだコロナ前と比べて7〜8%マイナスであるという。栃木県南地区のゴルフ場などは



クラブハウス内男子浴室。源泉かけ流しの天然温泉



食事が評判。上はレストラン「クリーク」で提供の鉄板ステーキ。下はつつじがヶ丘CC同様、紫塚GCでも提供する石臼から引いた手打ちそば

なりました」と話す。今は県民（ブロック）割もあり、東京都は対象ではないものの旅の需要増大に期待感を寄せている。

だいが来場者が戻つたとの報告もあり、紫塚GCも昨年は2割増、今年4月なども20%以上の増加で、「宿泊施設、ワーケーション含めて、当初描いていた構想がこれから始められる」感触を得られたところだという

### ゴルフアカデミーで目指すこ 子供やメンバーとの自然な交流

これにグランピングが加わつたことから、小さな子供連れの家族利用が増加し、アカデミーで始めていたスナッグゴルフの体験をグランピングや芳賀ファームの利用者に案内し、「自然な形でゴルフに親しみ、楽しむ経験を提案」している。

アカデミーのプランは「60分レッスン☆レンジでお悩みポイントを解決」税込み5500円、「120分レッスン☆スコアアップへ向けた課題解決」9900円、「180分レッスン☆レンジ×コースレッスンで上達を実感」1万4850円。その他、コースデビュー、100切り、親子ゴルフ、親子デビューと様々なプランを提案している。

現在、開校キャンペーンとして



本誌編集部が管沼プロ（支配人）の泊者コース  
ポイントレッスンを体験。現在宿コース  
には無料体験レッスンを開催中。「本  
併設ならではのオーララウンド  
ンが強み」

宿泊の方限定で「無料ワンポイントレッスン」を開催中。そこで、ゴルフ初心者の本誌編集部員が同レッスンを体験させていただいた。問診表に編集部員がゴルフ履歴や飛距離、悩みなどを記入した後、スイングとアドレスをチェックし、カルテに症状を記入してからレッスンに入った。ティーアップして7番アイアンで打っていたが、何度かアドレスやグリップの修正を指示しただけで、ダフリやこすり球も少なくなり、飛距離も出て、まっすぐな球が打てるようになった。

管沼プロは「構え方だけで、当たり方や方向性が変わります。子どもが最初の3カ月位、スクールに通うのを勧めるのは基礎が身に付くからです」と説明する。別のレンジでは高齢のご夫婦とみられる2人がレッスンを受けていたが、ご婦人が「これで、こんなに飛ぶの」と感嘆の声を挙げていた。体験レッスンについて長谷川社長は「ご利用される方が思いの外多いですね。レッスンは意外と敷居が高く、人前で打つのはあまり積極的ではないのでどうしても自己流の方が多い。しかしプロにレッスンを受けて基礎を習うと違いがはつきりと出ます。それを感じてもらおうとゴルフがもっと楽しくなります。それに初心者でも何か、楽しくなるきっかけをつかんでもらいたい。」

また企業様などにも身体、心のメンテナンスが必要とあれば、私共もお手伝いできると思います。



震災後に移設したコース内茶店は有人で、夏などはかき氷サービスも提供

また企業様などにも身体、心のメンテナンスが必要とあれば、私共もお手伝いできると思います。ワーケーションでは、国内大手自動車メーカーが3日間、宿泊施設を借り切り、屋外でデイベートや企業研修に使用したケースもありました。これからは企業向けに健康経営プログラムを発信できるようなプロモーションもしていきたい。今は、大手旅行代理店様とご相談させていただいていますが、また企業・団体様からは芳賀ファームを貸し切りご利用していただいたりしていますが、我々のコンセプトに反するようなことでなければ柔軟に対応できたらと思っています」と話している。

東京のアメリカンクラブとはコラボ企画を行うことが多く、毎月のようにコンペも開催されている。加えて、在留外国人を対象としたティーチングプロが同クラブでレッスンをラウンドをする機会も多く、外国人の利用が多いという。長谷川社長は「我々のサービス、ホスピタリティの精神は、楽しみをゲストの皆さまに提供する。これが社訓になっています。やはりお客様は来られる前から楽しみにしている方が多いわけですから、我々はその期待を裏切ることはいけません。そのために喜んでもらえるように、サービスを提供させていただく。お帰りの際にはまた来たいという満足度を感じてもらえる。そういった我々のホスピタリティの精神を持ち合わせたいという教えです」と説明している。

これからは需要が多様化することを感じているようで、既存の施設を最大限活用しながら、「好評いただいている温泉や食事をゆつたりと過ごせるようゴルフを核にしながら、皆様のご期待に添えるようなサービス提供に努めていきたい」と話している。

人を突き動かす言葉、コンセプトや行動が伴っていないと、国の補助金制度でも採択されないだろうし、従業員、利用者にも響かない。立地や施設の特徴、周りの動向、会員や利用者の行動や意見から導き出した結論のようで、一つの着眼点や取組みは王道で質の高いサービスを目指すものだが、従業員はフレンドリーで人と人とのつながり、学びを通じてゴルフ、人生が楽しめるリゾートを目指す、地に足の着いた長期的視野での取り組みとなっている。